

# 平成15年度漁業生産の担い手確保育成事業実施状況

瀬 底 正 武

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
一担い手育成関連 1) 少年水産教室開催	5月27日	竹富町西表島 上原小学校	全校生徒	日裁協八重山事業 場、竹富町、竹富 町漁業振興協議会	【目的】少年の水産業に関する理解を深めるため、小・中学生を対象とし、啓発学習、体験学習を行う。 平成15年5月27日から7月11日にかけて、日本栽培漁業協会八重山事業場、竹富町、竹富町漁業振興協議会の協力のもと、竹富町西表島の上原小学校の全校生徒を対象にアミメノコギリガザミの中間育成及び放流体験学習会が行われた。（詳細水産普及だより56号等）	竹富町漁業振興協議会を中心に中間育成・放流に取り組んでいるが、地域住民の認識が十分でないため、引き続き少年水産教室を開催し地域住民へのアピールを行う必要がある。
2) 漁協青壮年部部長事務局 会議開催（リーダー研修会）	11月19日	宜野座村漢那	宜野座中学 6名参加	宜野座村漁協 宜野座中学校 宜野座村役場	平成15年11月19日宜野座村漢那で定置網漁業体学習会が実施された。宜野座村漁協同青年部の全面的な協力の下、職場体験学習を兼ね宜野座中学校2年生男子6名が参加した。（詳細水産普及だより58号等）	
2) 漁協青壮年部部長事務局 会議開催（リーダー研修会）	7月11日	普及センター	漁協青壮年部 役員・事務局	県水産課 水産試験場	平成15年7月11日に水産試験場普及センター会議室において、漁協青壮年部部長事務局会議（リーダー研修会）が開催された。会議に先立ち財団法人亜熱帯総合研究所の鹿熊主幹より「漁協青壮年部に期待すること・サンゴ礁漁場の保全」をテーマに講演していただき、その後、各青壮年部代表による活動報告が行われた。当日は、情報提供として「シラヒゲウニを増やすための試み・種苗放流」について、水産試験場漁業室長渡辺氏より発表があった。（詳細水産普及だより56号等）	漁協青壮年部巡回移動相談等の見直し、青壮年部組織の在り方等今後の課題。
3) 講習会の開催 （ア）漁業経営講習会	8月 4日	沖縄市産業 交流センター	各漁協組合員 各市町村担当者	沖縄市漁協 県水産課	【目的】地域における未開発の技術又は経営手法の導入に当たって、青年漁業者自らが地域の特定課題又は技術内容を十分理解し得るよう専門家を招き集団学習を行う。 平成15年8月4日に沖縄市産業交流センターにおいて、漁船漁業及び魚類養殖経営講習会が開催された。講習会では、株式会社漁協経営センターの山本辰義代表取締役が「漁業・養殖業経営の見方・考え方」と題して講演され活発な意見交換がなされた。	経営に関する講習会は計画的に時間をかけて、演習等を含めた内容の設定が必要である。一般的な限られた講演では十分な説明ができず、中途半端で終わることになる。（詳細水産普及だより56号）
（イ）消費・流通講習会	9月24日	浦添宜野座湾漁協	漁業者・市町村 生産グループ	水産試験場 県水産課	平成15年9月24日浦添宜野座湾漁協において、コープおきなわ店舗事業本部商品部長上地清弁氏による「消費・流通から見た県内水産業の課題」と題して講演が行われた。高齢化社会に伴い健康志向が強くなる中、肉より魚の需要が高くなる傾向にあり水産物の安定供給が重要な課題と結んだ。最後に水産試験場漁業室下條研究員から「沖縄県の海洋環境モニタリングについて」情報提供があった。（詳細水産普及だより58号等）	

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
(ウ) トビウオ加工講習会	10月20日	糸満漁協調理室	漁協婦人部 生活改善グループ	糸満漁協	平成15年10月20日、21日にかけて、糸満漁協調理室において長崎総合水産試験場水産加工開発指導センター加工科桑原浩一研究員を講師に招いて、トビウオ加工講習会を開催した。 初日は、カマボコづくりについての一連の工程と製品管理について学習会が行われた。二日目は、屋久町漁協から購入したトビウオを使用して加工実習が行われた。(詳細水産普及だより57号等)	スケソウ等のすり身を使用せず、県内産魚でも十分にカマボコを作ることが可能であることが講習会を通じ認識した。
4) 都市・漁村交流会開催	11月20日	沖縄県調理師専門学校	県漁業士	八重山漁協 池田元氏 (食品提供) 県水産課	【目的】都市と漁村の青年の相互理解を深め、また広範な知識の向上を図るため、グループ代表又は代表者を県内又は他県の都市の青年グループ等に派遣し、交流学習活動を行う。 平成15年11月20日那覇市の沖縄調理師専門学校において、今年度は生産者を代表して沖縄県漁業士会、都市を代表して同調理師学校の生徒を対象に開催した。今回は天然魚と養殖魚の違い等を考えてもらうために2種類の魚で2種類の料理を作ってもらった。 試食後、生徒と漁業士の皆さんとの意見交換会が活発に行われ養殖魚も天然魚も同様美味しいとの評価であった。	今回は調理師をめざす、生徒の皆さんとの交流会であったが、今後は消費者と漁業者が直接交流できる機会を作っていきたい。(詳細水産普及だより57号等)
5) 漁業士認定	12月15日	本庁会議室	漁業士候補者	県水産課	平成15年12月15日に開かれた「沖縄県漁業士認定審査会」で正式に沖縄県漁業士として、2名の青年漁業士が認定された。 伊江漁協の金城勇氏、大城重光氏 (両人の紹介等水産普及だより57号参照)	
6) 本島地区若い漁業者確保推進会議開催(第1回)	10月17日	普及センター	推進委員	県水産課	本県の沿岸漁業を将来的にわたって安定的な発展を図るためには、次代を担う若い漁業者の育成確保は最も重要な課題である。 このため、普及指導活動においては漁業団体、市町村等関係機関との連携のもとに漁業後継者育成確保のための、普及活動を推進している。先般、本島地区の第1回推進会議が行われた。  1. 会議内容(第1回) 1) 平成16年度沿岸漁業担い手活動活力向上事業計画検討 2) 平成15年度沿岸漁業担い手活動活力向上事業実施状況 3) 平成15年度県漁業士会活動状況及び16年度実施計画 4) 平成15年度青壮年・女性漁業者交換大会候補者検討 5) 平成15年度漁協青壮年部移動相談実施及び見直し検討 6) 平成15年度中核的漁業者協業体育成事業実施状況及び平成16年度計画検討 7) 重点普及課題(13年度～15年度)実施状況 2. その他 *委員の皆さんへの普及事業アンケート、資料の事前配布による	1) 漁協青壮年部の巡回移動相談を漁協単位から広域化をし、合同の交流会による意見交換「パネルディスカッション」形式に見直しを行った。宮古・八重山については、通常の移動相談を実施  2) 県推進会議では、委員の要望により、テーマを設定し、

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
7) 沖縄県若い漁業者確保 推進会議開催 (第2回)	3月30日	普及センター	推進委員	県水産課	<p>意見の集約をおこなった。</p> <p>1. 会議内容 (第2回)</p> <p>1) 平成15年度沿岸漁業担い手活動活力向上事業実施状況</p> <p>2) 平成16年度沿岸漁業担い手活動活力向上事業実施計画</p> <p>3) 平成15年度漁業士会活動状況及び16年度実施計画</p> <p>4) 平成16年度青壮年・女性漁業者交換大会予定候補者等検討</p> <p>5) 平成15年度中核的漁業者協業体育成事業進捗状況及び平成16年度計画</p> <p>6) 重点普及課題成果報告 (最終年度)</p> <p>2. 県推進会議委員意見交換</p> <p>テーマ</p> <p>「高齢化が進む中で若い漁業者 (担い手) を確保するのが最も重要な課題である。各委員の担い手育成に対する考えを仰ぎたい。」</p> <p>3. その他</p> <p>「漁協青壮年部交流会等について」</p>	<p>意見交換を行うことにした。</p> <p>3) 会議の円滑な進行を図るため資料の事前配布を行った。</p> <p>4) テーマ設定によるアンケート調査を行い意見集約と会議の総括を行った。</p>
8) 沖縄県青壮年・女性漁業者 交換大会開催 (第9回)	1月15日	水産会館	青壮年・婦人部 研究グループ 漁業関係者等	系統団体・関係漁 協・市町村・農改 普及センター	<p>沖縄県に於ける漁村青壮年・女性漁業者及び研究グループの自主的な活動実績を発表し、相互の知識の交流、活動意欲の向上及び成果の普及を図ることにより、今後の漁村社会の発展に寄与することを目的に、同大会が開催された。また、漁業士の平成15年度認定授与式が、同大会の席上で行われた。(詳細普及だより57号記載)</p> <p>1. 実績発表の経過及び結果については、別紙の通りである。</p> <p>2. 審査の結果、「定置網漁業と体験漁業の協業化による経営改善」と題して発表した、石川・宜野座定置網協会の島袋博幸氏が最優秀賞に輝いた。参加者は188名であった。</p> <p>3. これまでに、延べ27回大会が開催され、133名の漁協青壮年部・女性部等が発表した。</p>	

# 平成15年度漁業士会活動実績報告

城 間 一 仁

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
1. 総会関連						
北部支部定期総会	7月14日	本部漁協	北部支部漁業士	普及センター 本部駐在	・平成14年度の活動報告及び平成15年度活動計画について検討した。併せて漁業士会支部の役員改選を行い、支部長に謝花指導漁業士、副支部長に名嘉指導漁業士が任命された。	
八重山支部定期総会	7月25日	八重山支庁	八重山支部漁業士	八重山支庁	・平成14年度の活動報告及び平成15年度活動計画を検討した。役員改選で、支部長に池田指導漁業士、副支部長に比嘉指導漁業士が任命された。	
宮古支部定期総会	8月 4日	宮古支部	宮古支部漁業士	宮古支庁	・平成14年度の活動報告及び平成15年度活動計画について話し合った。役員改選で、支部長に伊良波指導漁業士、副支部長に砂川指導漁業士が任命された。	
中南部支部定期総会	8月20日	普及センター	中南部支部漁業士	普及センター	・平成14年度の活動報告及び平成15年度活動計画を検討し、その他情報交換を行った。併せて漁業士会中南部支部の役員改選を行い、支部長に上原指導漁業士、副支部長に安谷屋青年漁業士が任命された。	
沖縄県漁業士会総会	8月20日	普及センター	沖縄県漁業士	県漁連 信漁連 漁船保険	・沖縄県漁業士会総会を開催し、平成14年度事業報告及び収支報告、平成15年度事業計画及び収支予算案などについて検討した。また、役員改選では、会長に小嶺青年漁業士、副会長に島袋青年漁業士と安谷屋青年漁業士が任命された。さらに規約改正では、総会の開催時期について原則7月中とした。総会終了後、水試情報提供及び漁業士による視察報告がなされた。	
2. 交流会・学習会関連						
業態別交流会	6月24日	石川市漁協	全漁業士	本部漁協真栄田参事 島袋博幸	・石川市漁協会議室において中核的漁業者協業体育成事業について実際に県内で協業化を行っている事例について本部漁協真栄田参事と宜野座漁協島袋青年漁業士に報告してもらった。	
	10月29日	久米島	中南部支部漁業士	普及センター	・久米島にてマグロヤケ対策試験を実施した。上原清秀氏、与那嶺強氏、小嶺仁氏と久米島漁協の漁業士で乗船試験を実施した。漁獲したマグロは改良型伊良波式・従来式ともに解体して身質を確認して意見交換を行った。	

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協力者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
県産魚類（天然魚・養殖魚）の利用状況交流会	11月20日	沖縄調理師専門学校	全漁業士	沖縄調理師専門学校	・沖縄県調理師専門学校にてハタ科の天然魚と養殖魚の調理及び試食を行い、漁業士と専門学校講師、生徒で意見交換を行った。	
宮古・八重山漁業士交流会	3月22日	八重山	宮古支部漁業士 八重山支部漁業士	仲田森浩	・八重山にて宮古支部漁業士・八重山支部漁業士で交流会を行い、サバニクルーズ代表の仲田氏を講師に招いて、八重山の観光漁業、クチナジの資源管理について講習会を行い、意見交換した。	
3. 研修・視察関連						
漁業士九州ブロック研修及び市場流通視察	9月 8日 ～ 9日	鹿児島県 鹿児島市	各県漁業士	鹿児島県	・鹿児島県で開催される漁業士九州ブロック研修会に市場流通視察も兼ねて伊平屋漁協諸見青年漁業士、久米島漁協仲与志青年漁業士が参加した。パネルディスカッションでは「地域における漁村活性化の取組」というテーマに諸見氏が海の学校の事例について報告した。	
青年漁業士養成講座	12月 3日	普及センター	青年漁業士候補者	普及センター 名誉指導漁業士	・平成15年度青年漁業士候補者2名に対して基礎的な技術及び専門的な技術、経営管理等の知識を付与するための講座を名誉指導漁業士の上原佑強氏と我部政祐氏、瀬底センター長、大城専技を講師として実施した。	
大分県漁業士会視察	3月13日	大分県	沖縄県漁業士代表	大分県漁業士会	・小嶺仁漁業士会会長、池田元監事、宮里義高指導漁業士、普及職員1名で大分県の市場流通視察及び大分県漁業士連絡協議会総会にて沖縄県漁業士会の活動と沖縄県の漁業について説明し、意見交換を行った。	
4. 地域活動						
ハーリー講話	5月		八島小学校	比嘉康雅	・八島小学校2年生の生徒にハーリーについて講話	
ハーリー体験学習	6月27日		八島小学校	比嘉康雅	・八島小学校6年生の生徒に対してハーリー体験学習を行った。	
定置網漁業体験学習	11月19日	宜野座村	宜野座中学校	島袋博幸	・宜野座中学校男子生徒6名が参加し、定置網体験漁業、調理実習、宜野座村の漁業についての学習会を実施した。	
5. その他						
シャコガイ養殖視察受入	7月23日	八重山	渡嘉敷漁協	池田 元	・渡嘉敷漁協組合長、参事、職員、漁業者の4名を受け入れてシャコガイ養殖について説明を行った。	

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
漁業士認定	12月15日	沖縄県庁	認定審査委員	漁協・市町村	・沖縄県漁業士認定審査会にて伊江漁協の金城勇氏と大城重光氏が青年漁業士にそれぞれ認定され、平成16年1月15日に開催された青壮年・女性漁業者交換大会において認定証の授与を行った。	
シャコガイ養殖視受	1月13日	八重山	宮古漁業者	池田元	・宮古支庁職員2名、漁業者1名を受け入れてシャコガイ養殖について説明を行った。	
ソデイカ視察受入	2月	八重山	小笠原漁協	比嘉康雅	・小笠原漁協からのソデイカ漁業に関する視察の受け入れを行った。	